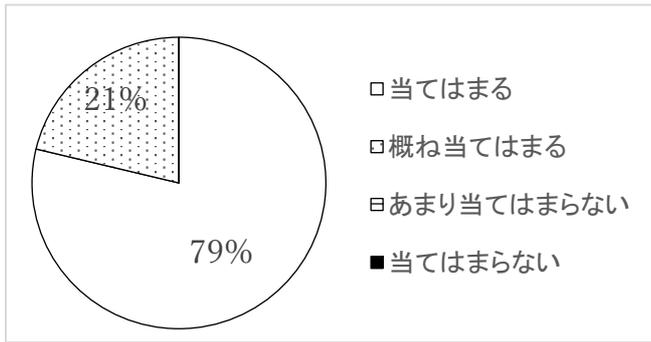
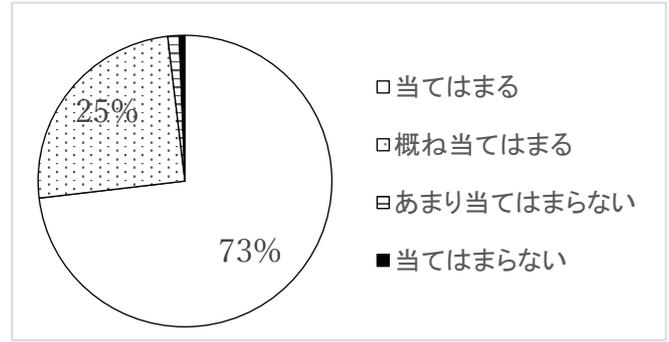


1. 分科会は課題解決に向けて参考になるものでしたか？



2. ブレイクアウトルームでの協議は有意義でしたか？



《分科会についてのご意見・ご感想》 ●課題

○昨年は実施できない状況だったのをオンライン会議ということで分科会 200 名ほどの先生の会議をオンラインだけでできるということが分かり、本当に勉強になりました。また、各地区の様々な取り組みを学べたことは本当に良かったです。早速、自分たちの地域の教頭先生に紹介し、実践していくことが大切であると感じました。

○教職員と子供の多忙化解消会議や学校評議員(運営協議会)に子供たちも参加するなど中学校の提言でしたが、今後検討させていただき、児童生徒、保護者、地域と学校がチームを組んで子供達の健全育成、未来を生きる力を育てていきたいと思ひます。

○実行委員長をはじめ、佐賀県のスタッフの先生方、提言の先生方、お疲れさまでした。これだけの規模のオンラインという初めての取組の中でスムーズに進行ができよかったです。講演もよかったですし、分科会もいろいろな地域の教頭先生方とお話しできてとてもよかったです。11 月にはブロック大会が予定されています。今回の佐賀の運営を参考にしたいと思ひます。

○初めての試み、よかったです。オンラインであるため、グループ協議では個々の発言になり、双方向のやり取りができないのが残念でした。やむを得ないですね。しかし、このような形でこのように大きな研修会ができてすごいなと思ひます。担当された先生方、有り難うございました。

○教育環境整備に関する課題で、児童生徒がいかに自主的に安心・安全な学校づくりに関われるか、また、教頭としてどういう関わりがもてるかについて勉強させていただきました。自分が率先して表に立って取り組んでいくのではなく、児童生徒が自分事として受け止め、実践していく。また、教職員にも、納得した上で、児童生徒の実践を指導していくことができるように自分の役割を見つめ直すことができるよい機会となりました。

○全国の教頭先生方のお話を聞くと、特に防災に関しては地域性があるということに驚きました。しかし、どこでも子供たちの危機回避能力を高めることが大事ということと、教頭としての危機管理意識を高く持つことが大事ということを感じました。

○全国大会を開催していただき有り難うございました。コロナ禍の中で集まれないまでも何とかして大会を開催しようとする意気込みに敬服します。お陰様で元気の出る 2 日間となりました。2 日間のオンライン開催でしたが、集まるよりも話に集中できたり資料がよく見られたりしてとても有意義であったと思ひます。また、顔を見合わせての分科会もあり、参考になる取組が聞けたり同じ悩みの共有ができたりしたことが明日の活力につながりました。有り難うございました。第3分科会中川先生の指導助言もとても具体的で分かりやすく、役に立ちました。もっと多くの先生方に聞いてもらいたい内容でした。

●参集型にはない手軽さがよかったです。しかしちょっとしたことを聞く・話すということができないことは残念だった。(それが参集型の良さなのだと思う)

●時間が短くて残念！この一言です。もっともっと多くの皆様方と、もっともっと多くの時間を共有し、教頭にしか分からない日々の苦悩を、全国の教頭先生方と情報交換をしたかったと感じました。

●グループ協議について、それぞれの地区の取組を発表するだけで時間が一杯になってしまい、話し合いが深まらなかったのが少々残念でした。できれば提言を絞って(3本を2本に)、時間を有効に使えればよかったですと思ひました。

●グループでの協議は、焦点を絞って一人一人の話を短く、多元的な協議ができるとさらによかったと思ひます。